



オイルラウンダーという言葉こそふさわしい。

バス用ルアーという枠には当てはまらないサミングの実力。

200年の発売から極最近まで、ユーザーの大多数がバスアングラーであったことから、サミングというミノがバス専用開発されたと思われがちだったのは間違いない。しかし、サミングがカバーする範囲はそれに留まらず、開発当初よりシーバス、トラウト類に効果的な結果を生んでいた。それ以前にサム山岡がバルサハンドメイドとして制作していたサミングの原型「LDF-65」が、九頭竜川のサツキマス等に効果的だったことを考えれば何ら不思議のない話である。現在では生粋のトラウトアングラーからも高い評価を得ており、日本各地の様々なフィールドで実力を発揮しはじめている。

サツキマス 九頭竜川 釣り人 内田晴之さん
ヒットルアー SUM Yamaoka Balza Handmade LDF-65

もはや安定した性能&釣果というだけでは語れない。

サミングユーザーのほとんどが語るその魅力とは、キャスト時から最後のピックアップまでのフィールド状況をアングラーへ的確に伝えるその操作感である。詳しく解説すれば、キャスト時には固定ウェイトが不意の横風や向かい風にバランスを崩す事がほとんど無く、アングラーにとって想定外のミスキャストが起こり難い。リトリブ中は水中の状況（流れの強さやヨレ具合）が繊細に伝わり、釣りに於いて最も重要かつ必要であるリアルなイメージをアングラーに与える事が出来る。また、ノーマルリトリブ以外のトゥイッチアクションに於いても他のミノプラグにはない、サミング独自のアピールを実感してもらえるだろう。これまでに天然のサクラマス、サツキマス、レインボートラウト、イwana、アメマスなどの他、管理釣り場のイトウ、ブラウントラウトなどにも好釣果を生んでいます。

summing

70F&SP&S

尻太&固定ウェイトのメリット



SPEC

Length : 68mm

Weight : F / 6.2g

SP / 6.8g

S / 7.8g

Price : ¥1,575 (税込み)

サミングの形状に於いて特徴的なのは、やはりボディー後方のボリューム感でしょう。トラウトアングラーの多く、いや、ほとんどの釣り人が最初に抵抗を受けるのはその尻太デザイン。これはサミングを語る上で最も重要な事柄です。このボリュームは後方部により多くの浮力を持たせる為のデザインであり、ボディーの中央にウェイト備える為には欠かす事が出来ません。結果、わずか68ミリというボディーサイズの割にウェイトがあり、想像以上に飛距離が稼げ、飛行姿勢にも安定感があります。更に固定ウェイトである事は、重心移動タイプにありがちな泳ぎ出しの悪さが全く無く、トゥイッチ時や障害物への接触時に意図しないウエイトの移動によるバランスの欠落、水面への飛び出し、回転などありません。現在でも見落としがちなこの概念は、1987頃のサム山岡バルサハンドメイド制作期、既に確立したオリジナルコンセプトと言えます。

